

昭和54年度 第1回国際プログラム委員会 新陣容で発足

昭和54年11月21日/17時半~20時半/於・私学会館

【出席者】中嶋嶺雄、広野良吉、三輪公忠、横田洋三、山代昌希、阿部美哉、小倉充夫、岡野行秀、光田明正(敬称略)

まずはじめに、飯田館長より開会の挨拶が行われ、議事に入った。委員の任期はすでに6月末で満了のところ、事情で今日まで延びていたが、前委員長川田侃上智大教授、前副委員長中嶋嶺雄東京外語大教授、広野良吉成蹊大教授の意見を参照して、再任ならびに新任をお願いする先生方を選び、これらの方々からの承認も得られたので、今回の委員会の開催に至ったことが館長より述べられ、当委員会内規にもつき、中嶋嶺雄氏に委員長をお願いしたいとの提案がなされ、全員一致で中嶋氏が選出された。

次に、中嶋委員長は、副委員長に広野良吉、三輪公忠両氏を指名され、両氏の了承の上、一同の賛成を得て承認された。

つづいて、当面の課題である第7回国際学生セミナーの企画についての協議に移った。前年度委員会が討議の上、新年度のセミナーの副題として申し送られた「日本と朝鮮半島との文化接触」について意見交換した結果、現下の政治状況ではプログラムの実現はかたがた困難ではないかと慎重意見が強く、別の機会にゆずることになった。しかし「文化接触」と日

本」を主題に今後開催が予定されている二回のセミナーでは、従来の総合的テーマよりむしろ特定の地域を対象にした研究を主眼にすべきであろうとの前年度委員会の提案を受けつぎ、今年度はアジア・太平洋地域を取り上げ、副題を「相互依存のなかで」と決定し、運営には中嶋、三輪、小倉、岡野、山代の諸氏が当たることになった。なお、次年度では欧米を取り上げることになった。

【国際プログラム委員】
(就任順、50音順、○印は新任)
昭和54年度
第2回 昭和54年11月5日 18時~20時半/於・私学会館
【出席者】岡宏子、野田春彦、山岸健、黒田道雄、友部直、板垣雄三、熊坂敦子、小池滋、高須裕三、阿久津喜弘、馬場伸也(敬称略)

はじめに、第104回の実施報告及び第105~108回の準備経過報告が、それぞれ担当の運営委員と企画室より行われ、つづいて今回の主要な議事である次年度の年間計画についての討議に入った。飯田館長より以下の方針が説明され、了承された。

①大学共同セミナーは一五年に亘り所期の役割を一応果たしたと見てよく、今後は回数にとらわれないこと、内容を綿密に吟味

し、高めていきたい。従来の規模の共同セミナーは年間5回をメドにしたい。

②大学院共同セミナーは二回連続の形を当分つづけ、特色ある内容に育てたい。

③共同セミナーから派生した八大学合同セミナーのように、有志教授による専攻学科が同じ数大学の合同セミナーを国公私の大分の中に積極的に育てたい。

次に、次年度上半期の共同セミナーの企画をめぐって、種々の意見交換がなされ、第109回は前回の委員会でも取上げられ懸案となっていた「エネルギー問題」を具体化すること、第110回は学生から要望の強い芸術セミナーとすること、に決定した。なお、来年は当セ

- >委員長
中嶋 嶺雄 東京外国語大教授
- 副委員長
広野 良吉 成蹊大教授
- 三輪 公忠 上智大教授
- 阿部 美哉 日本学術振興会人事交流課長
- 金山 宣夫 東大教授
- 鈴木 孝夫 慶応義塾大教授
- 平野 健一郎 東京大助教授
- 山代 昌希 早稲田大外事課長
- 横田 洋三 国際基督教大教授
- 岡野 行秀 東京大教授
- 小倉 充夫 津田塾大助教授
- 菊地 靖 早稲田大教授
- 熊田 禎宣 東京工業大教授
- 小宮山 猛 国際交流基金受入課長
- 光田 明正 文部省留学生課長

ナー・ハウスが開創十五周年を迎えるので、十分時間をかけて記念セミナーにふさわしい企画を練ることが確認された。

引きつづいて、現行の「共同セミナー委員会内規」を実際の運用に照らし、同時に、「国際プログラム委員会内規」(52年7月施行)にも歩調を合わせたいように修正したい旨の提案理由が岡山専務理事からなされ、承認された。

第四条「委員長は前期正副委員長と協議の上、館長が委嘱する。その任期は二年とする。ただし再任を妨げない。」

第五条「委員会は副委員長二名をおく。その任期は二年とする。ただし再任を妨げない。」

最後に、今年度になって顕著になった共同セミナーの参加人員の減少について、その原因の分析と対策の必要性が企画室より提言され、種々の意見交換が行われたが、その主なものは大要次のようである。

- ①学生の意識や気質が変わっているが、その捉え方が十分か。
- ②テーマの選定に問題はないか。
- ③学内PR方法の再検討の必要。
- ④学生とのコミュニケーション・ギャップを埋めるため、若い世代の委員の参加が望ましい。

野田副委員長より、前回の委員会の決定に基づきエネルギー問題をテーマにした第109回共同セミナー(会期11月30日~6月1日)の企画を進めていたが、幸いにも横浜国立大教授太田時男氏のご協力を仰ぐことができ、具体化の見通しがついた。エネルギー問題は八〇年代に人類が直面する最大の課題であり、極めて時宜にかかったテーマであるので、これを開館十五周年記念の一つとして実施してはどうか、との提案がなされ、全員の賛成を得て承認された。併せて、セミナー終了日の翌日に、都内の会場で記念大講演会を計画したいとの館長提案がある。(次ページ5段目へつづく)

- (3ページよりつづく)
- 生部厚生課長 平井敏夫 立教大
- 学生部学生厚生課 川上吉彦
- 武蔵工業大学教務部学生課長 小
- 椋山勇雄 同課 市川康 明治学
- 院大学学生部学生課主任 内藤美
- 枝子 総務部総務課長 今野清文
- ▼順天堂大学学生課 内村曉 武
- 蔵大学学生部学生生活課長 大沢
- 勝 東京理科大学学生生活課 浦沢
- 光五郎 専修大学学生厚生部学生
- 生活課次長 村田正敏 大妻女子
- 大学学生部長 緒方真也 聖心女
- 子大学教職渉外課長 川島茂蔵
- 神奈川大学学務課長 成田秀之
- 学生課 川端輝夫 東海大学教務
- 部事務室次長 大本雄一 駒沢大
- 学総務部法人課係長 竹内正允
- ▼東京薬科大学学生課長 佐々木孝
- ▼相模女子大学学生課長 片野孝
- 治 同課主事補 落合明